



笑顔まんかい通信



北九州市介護支援ボランティア事業情報お届け便 第 14 号 (平成 29 年初夏号)

第 12 回施設見学・ボランティア体験会 ～地域密着型特別養護老人ホーム ひびきの虹色館～

3月15日、ひびきの虹色館（若松区ひびきの南）にて施設見学・ボランティア体験会を開催しました。施設は最寄バス停から徒歩15分と離れていますが、ナフコの並びにあり施設の駐車場を利用できます。

はじめに福島施設長から、介護支援ボランティアの方は利用者と世代も近く、ゆっくり・しっかり・じっくり対応して下さり、利用者さんも安心され喜んでくださいますとの話をいただきました。

当日は、紙芝居を見学したり、パズルや塗り絵などを楽しむ利用者さんを見守りながら会話を楽しむなどの活動を体験しました。事前に施設職員から、「認知症の方は集中力が続かないため、それやすい注意を『紙芝居の人はお侍さんかな?』などと話しかけ、演目に促すことが大切です。ただし、演目に集

中できない利用者さんには、演技中の方や利用者さん双方にとって良いように別室に誘導し、利用者さんが好むことを楽しんでもらうこともあります」とのアドバイスがありました。

参加者からは、初めてのボランティア体験で緊張気味でしたが、利用者の方々の笑顔に救われました、との感想が寄せられました。

おやつ準備を
お手伝い活動前の
オリエンテーション

【スキルアップ研修会】

認知症の理解を深める ～認知症の基礎知識と接し方～

3月23日、伸寿苑在宅介護支援センター相島佐智子先生をお迎えして、認知症の症状や予防、接し方を学びました。

様々な認知症の症状を知ることは、ボランティアだけでなく、予防・早期発見・徘徊者の発見など日常生活にも役立ちます。

認知症の方と接する心構えとしての3つのない「驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけない」を実践するためには、敬意をもって接し、例え事実と異なっても認知症の方の不安に共感することが大切であり、認知症の方の世界に合わせた対応を、具体例を示し紹介していただきました。

予防としては、生活習慣病のコントロール

〔運動・交流・趣味（ボランティア活動も有効）〕と生活改善が大切であり、認知トレーニングとして、実際にリズム体操やレクリエーションを行いました。

参加者からは認知症について再認識するとともに、自身の健康管理や予防を見直すきっかけになったとの感想をいただきました。





介護支援ボランティア事業 活動報告

(活動期間：平成28年1月～12月)



平成28年の活動実績と平成29年1～2月にかけて、ボランティア・受入施設の皆さんに向けて実施したアンケートの集計結果をご報告します。アンケートにいただいた貴重なご意見は、今後の事業運営に活かしてまいります。また、アンケートの詳細はホームページに掲載いたします。

アンケートへのご協力・ご意見をありがとうございました。



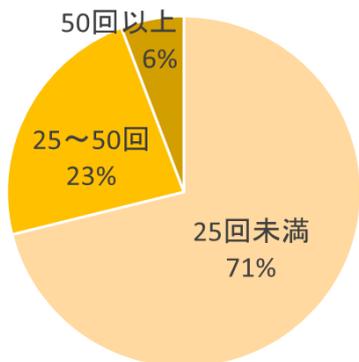
ポイント換金・寄付金額

換金 2,165,800円 (636名)
 寄付 425,800円 (233名)
合計 2,591,600円 (812名)

一人平均
約3,190円



※ 換金・寄付の両方をされた57名は、それぞれの人数に加算しています。



年間活動回数
(一人平均)

1回以上活動した人数
938名 / 1,779名
 (H28年12月末現在)

ボランティアが活動した施設数

228箇所 / 319箇所
 (H28年12月末現在)

延活動回数

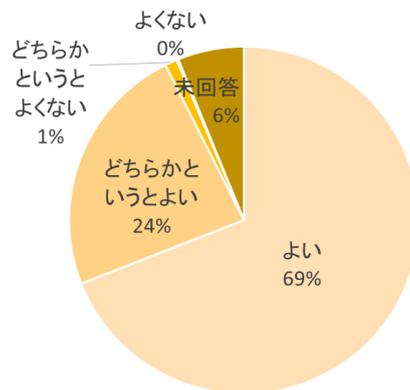
18,295回
 (平均20回/人)

年間最多活動回数

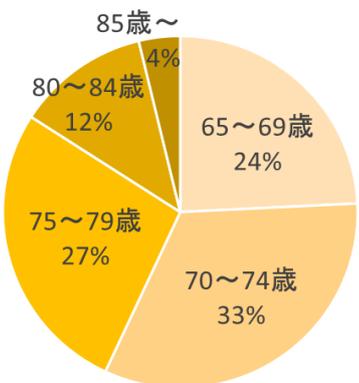
195回
 ※活動者の71%は月1～2回のペースで活動しています。

活動者の最高年齢

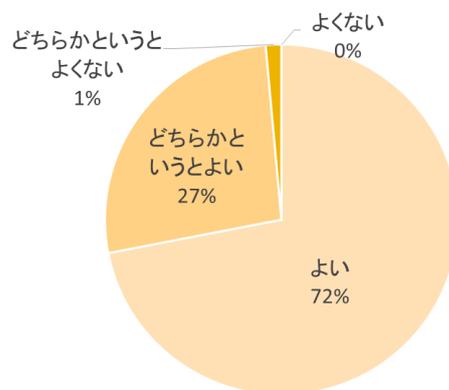
男性 **92歳** (1名)
 女性 **91歳** (3名)



総合的な評価
(ボランティア)



ボランティアの年齢割合
(H28年12月末現在)



総合的な評価
(受入施設)

【発行・問合せ・申込先】 ※お電話は、火曜～土曜 8:30～17:15 にお願ひします。

社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

TEL : 093 (881) 6500 FAX : 093 (881) 9680

ホームページアドレス <http://www.kitaa-shakyo.or.jp/>